

外部点検評価表

委員名：白石知子

先日はお疲れ様でした。大変遅くなりましたが、感想をお送りいたします。

評価委員会の際には、丁寧な資料を準備いただき、わかりやすい説明もあり、園長先生をはじめ教職員の方々が日ごろから子供たちの成長を願い、子ども真ん中教育・保育に取り組んでいらっしゃる様子を伺うことができ安心しました。まとめたコメントでお許しください。よろしくお願ひいたします。

- ① 外部評価委員の連絡を年度当初にいただきたい。その際、本園の基本方針や組織、年間行事計画等をお送りいただけすると通常の運営等を参観しやすいと思います。
- ② 自己点検については、教職員全体の評価から評価点を出すと教職員の意識付けにもなり次につながると思います。(小数点が出るかもしれないが)
- ③ 評価内容や評価が昨年とほとんど変わっていない。評価のための評価ではなく、前年度「2や1」の評価については(1はなし)、3に向けて、改善点を教職員等で共有し、新たな評価項目や対策を検討してほしいと思います。自己評価が「2」については確認の必要あります。
- ④ 「共主体」の取組を「見える化」してほしいです。教職員全体で、教職員個別で、園児で、(保護者や地域も巻き込んで)でのより工夫を期待しています。そのような環境を作ると、子どもの遊びに広がりが見られるとともに、「幼児期に育みたい資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等が見られると思います。
- ⑤ 次期の学習指導要領の素案が9月に出ました。学習指導要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の趣旨を生かした教育・保育の先行実施を。宮崎学園短期大学附属園として、大学教員の研究とつながったりすることもあります。次期学習指導要領は育みたい資質等は変わりません。「主体的・対話的で深い学び」、「多様性に応じた学びの促進」「情報教育の強化」を中心として進められる予定です。その基礎部分をどのように清武みどり幼稚園で繰り広げるか、知恵を出し合い、教師も職員も子供たちも保護者もワクワクする取り組みが繰り広げられることを期待します。特に、科学的思考は幼児期からの育成も大切です。その環境の充実もご確認ください。
- ⑥ 地域の認定こども園清武みどり幼稚園としての存在をもっとPRしてほしいです。今までやっていることは当たり前。小学校の今までの取組に助言をしてください。近隣の小・中・高等学校との連携やまちづくり協議会や自治会等のつながりもできます。保育者養成にもつながります。よろしくお願ひいたします。

良い点、悪い点、改善点等をご記入ください。

I. 福祉サービスの基本方針と組織

1. 理念・基本方針について
2. 経営状況の把握について

3. 事業計画の策定について
4. 質の向上への組織的・計画的な取組について

【コメント】

今までの取組の確認を。小さなステップで開かれた幼稚園、信頼される幼稚園を目指してください。今後のさらなる少子化に向けて基盤を不動のものにしてください。

II . 組織の運営管理

1. 管理者の責任とリーダーシップについて
2. 人材の確保・育成について
3. 運営の透明性の確保について
4. 地域との交流・地域貢献について

【コメント】

園長・副園長・主任のアイディアも大切ですが、保育教諭等の意見・アイディアも大切です。いかに職員を動かすか、意見を引き出すかは、身近にいる副園長の力も大切です。頑張ってください。

III . 適切な福祉サービスの実施

1. 利用者本位の福祉サービスについて
2. 福祉サービスの質の確保について

【コメント】

今後は園児の多様性にも力を注いでください。大きな問題は起きていないようですが、日ごろからのきめ細かな対応が危機を防ぎます。管理職不在時の危機対応について、しっかり確認をしておいてください。(出張や大学講義など、なるべく責任をとれる人が一人は在園することが望ましいです。裁判時などでは。)